

きよの壺 プレミアム

田中奈津子展

Gallery P A R C
GRAND MARBLE



きょうの壺 プレミアム

田中 奈津子 展

2017年2月21日[火] — 3月5日[日] 11時~19時 金曜日のみ20時まで 月曜日休廊



【広報画像01】 展示予定作品 《きょうの壺》 2016~2017 ミクストメディア

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、2017年2月21日[火]から3月5日[日]まで、「きょうの壺 プレミアム:田中奈津子 展」を開催いたします。

2007年に京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻を修了した田中奈津子(たなか・なつこ/ 福岡・1981~)は、在学中より個展やグループ展などに取り組むなど、現在までに精力的に制作・発表活動を続けています。

当初、身近な日常の中で不意に得たイメージを膨らませ、それらをモチーフに絵画・版画のテクニックを組み合わせた絵画制作を続けていた田中は、2015年より包装紙や広告・カレンダー等を素材として、毎日「壺」の絵を描くことに取り組み始めます。これは、それまでの制作が田中の自由なイメージ・様々なテクニックによるものであったのに対し、壺という制約、日々描き続けるという制約を自身に与える行為であるといえ、田中はこの制作をおよそ1年に渡って続けます。

初期には壺を「描く」意識、絵画としての画面づくりへの意識が強く、また、スピード感を得るためにおもにコラージュ技法を多用していた制作は、筆や手で描いただけの日、自身の作品の切れ端や準備した素材を用いた日、細かなコラージュを重ねた日、ボールペンで走り描いた日など、次第に技法や素材を限定しないものとなり、描かれた画面にはその日その日の変化が多様に現れるようになります。

また、そこからは当初の田中の制作姿勢が「絵画にする」ことであったとするならば、その後の制作はまるで「絵画をする」ことであるように見受けられ、画面の変化は田中の絵画に対する思考やアプローチの変遷として見ることもできます。

自身の感性にのみ頼るのではなく、五感、記憶や経験、感情や体調、身体や道具、時間などのあらゆる要素を手がかりに続けられた「きょうの壺」の制作は、田中にとっていつしか自由を封じる制約ではなく、自分自身にかかっていた制約を検証する機会として、あるいは自身を支える「芯」のようなものとして位置付けられることとなります。

本展では2016年12月半ばから年越しの一月に渡って、田中が毎日「絵画をした」痕跡である、壺の絵を展示いたします。

きょうの壺 プレミアム

田中 奈津子 展

2017年2月21日[火] — 3月5日[日] 11時~19時 金曜日のみ20時まで 月曜日休廊



【広報画像02】《きょうの壺》 2015 ミクストメディア 撮影: Tomas Svab

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[info@galleryparc.com]迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 きょうの壺 プレミアム:田中 奈津子 展

出展作家 田中 奈津子

会 期 2017年2月21日[火] —3月5日[日] 11:00~19:00
月曜日休廊・金曜日20:00まで

料 金 無料

内 容 【絵画】

2005年に京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業、2007年に同大学大学院美術研究科絵画専攻を修了した田中奈津子による個展。2016年12月半ばから一ヶ月間、毎日描いた壺の絵を一堂に展示します。

会 場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク] 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

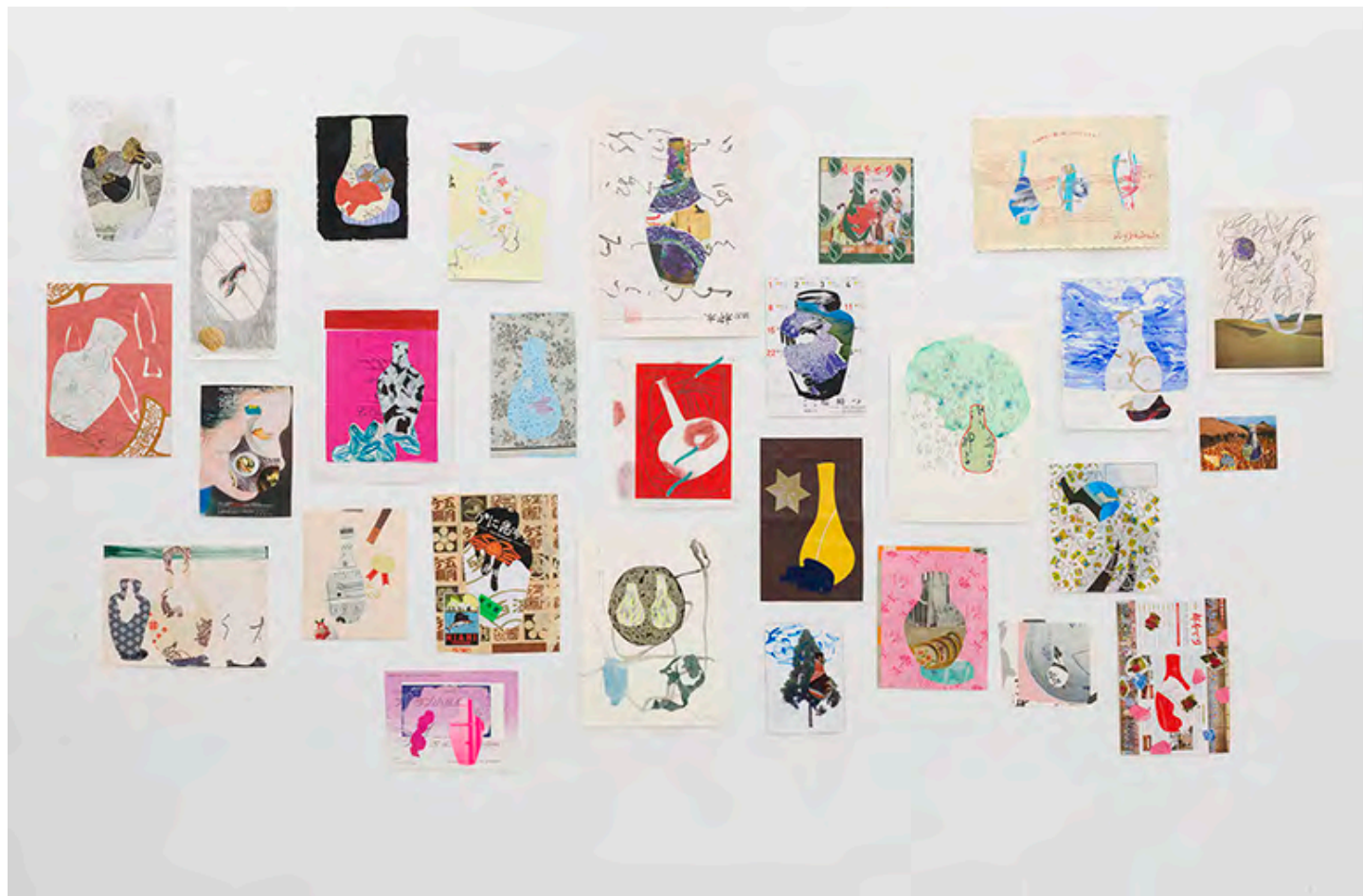
ア ク セ ス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問 い 合 わ せ Gallery PARC (正木・武本・村田) 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル [グランマーブル]2F
【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com

きょうの壺 プレミアム

田中 奈津子 展

2017年2月21日[火] — 3月5日[日] 11時~19時 金曜日のみ20時まで 月曜日休廊



【広報画像03】《きょうの壺》 2015 ミクストメディア 撮影: Tomas Svab

年越しの一ヶ月間、毎日壺の絵を描き続けます。

過去の作品、頂き物の包装紙、印刷物、事前に用意したドローイング、

ストロークの切れ端、それらを切ったり貼ったり、またその上に描いてみたり、剥がしてみたり。

壺は、それらの待ち合わせの場所であり、世界を開く鍵穴であり、

毎日の輪郭であり、わたしの体でもあります。

「そこ」はいつでも「ここ」になるから、今すぐここで、絵画する。

一度しかない今日という日に出会う、思い出の絵画達の展覧会。

きょうの壺 プレミアム

田中 奈津子 展

2017年2月21日[火] — 3月5日[日] 11時~19時 金曜日のみ20時まで 月曜日休廊

田中 奈津子 TANAKA Natsuko

1981 福岡県北九州市生まれ
2005 京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業
2007 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了

個展

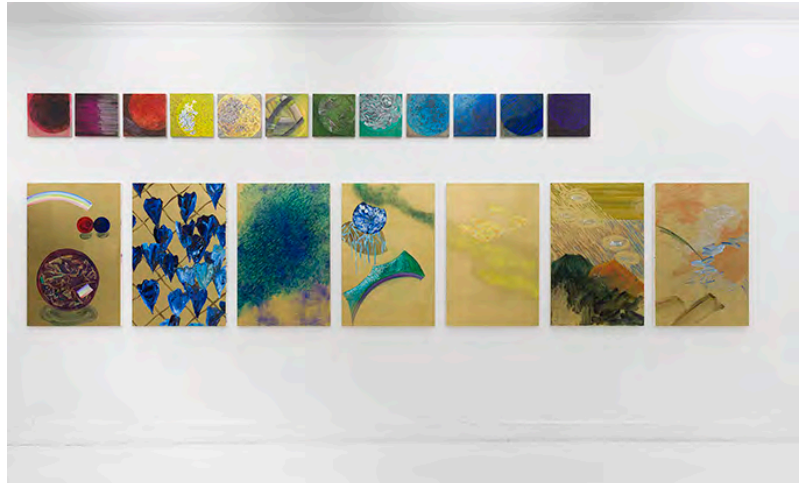
2002 WORLD/岡田屋本店ギャラリー(三重)
2004 The golden time in Cambodia/GALLERY ANTENNA(京都)
2005 水辺の人/GALLERY ANTENNA(京都)
2006 孤島群/複眼ギャラリー(大阪)
- ギャラリーDen 58(大阪)
2007 京都市立芸術大学作品展第三会場学内展
2009 私湯/MEM(大阪)
2011 デコレーション/アトスペース虹(京都)
2012 豊かな絵/アトスペース虹(京都)
2013 Fantasy for Adults/アトスペース虹(京都)
2014 わたし壺世界/アトスペース虹(京都)
2016 繋ぐ、結ぶ、続く、絵/アトスペース虹(京都)

グループ展

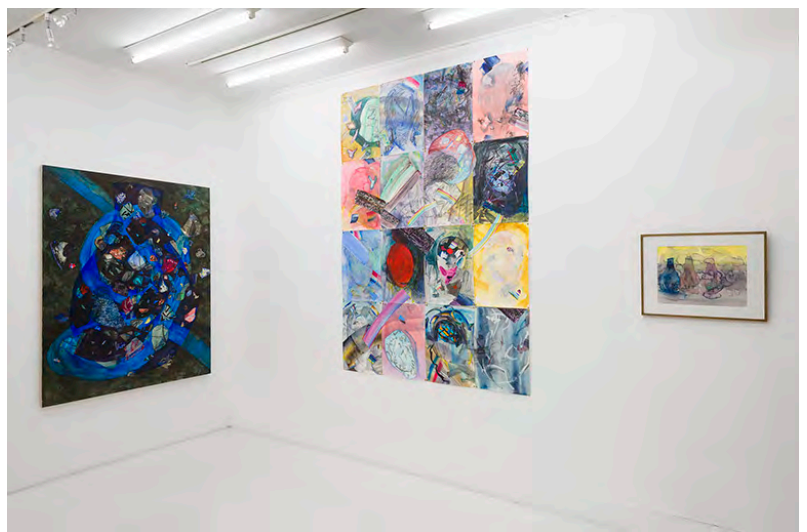
2003 現代美術インディペンデントCASO展/海岸通ギャラリーCASO(大阪)
2004 ひと展/京都市立芸術大学大ギャラリー
- 日本カメラ祭 in 八木町/旧新聞配達所
2005 山本恵と2人展「花と人」/ボーダレスアートギャラリーNO-MA(滋賀)
- ドローイング5人展「ANOTHER STORY」/GALLERY ANTENNA(京都)
2006 GENSE ART EXHIBITION/建仁寺禅居庵(京都)
2007 作品中/galerie16(京都)
- in my room/FUKUGAN GALLERY(大阪)
- 58号室展/ギャラリーDen 58(大阪)
- ART AWARD TOKYO/行幸地下ギャラリー(東京)
2008 ペインティングの恋人/海岸通ギャラリーCASO、MEM(大阪)
2010 京都オープスタジオ
2012 「あれから、そして、これから」 山本俊夫、藤原康子、田中奈津子/ギャラリーモーニング(京都)
- つくって見たかったもの/CAFÉ PULPO(京都)
2013 「悦ばしき知覚」 関口敦仁、山部泰司、松井沙都子、田中奈津子/galerie16(京都)
2014 つくって見たかったもののおみせ/同時代ギャラリースタジオ1928(京都)
2015 掲示板アート 片淵綾香、山本恵、田中奈津子/高尾小フェス2015(京都)
2016 二人展「SPECTRA」 鷹木朗、田中奈津子/ギャラリー恵風(京都)

受賞

2015 きょうの壺 マネックス証券Art in the office 2015 審査員特別賞



【広報画像04】「繋ぐ、結ぶ、続く、絵」(アトスペース虹・2016)展示風景 撮影:Tomas Svab



【広報画像05】「繋ぐ、結ぶ、続く、絵」(アトスペース虹・2016)展示風景 撮影:Tomas Svab



【広報画像06】《壺#5》2014 キャンバス、油彩、アクリル 撮影:Tomas Svab



【広報画像07】《プリズムの壺#1》2016 キャンバス、油彩、アクリル